



生涯学習にいがた

No. 68 平成19年11月9日

家庭教育サポーター養成研修会 ～地域の子育てのお役に立ちます～

新潟県教育委員会では、家庭教育の様々な問題にかかわる相談に応じ、家庭教育を支援する「家庭教育サポーター」の養成を行っています。

研修は、全6回7日間です。第1回は9月11日に行い、最終回の12月7日には修了証が渡されます。

研修内容は、「乳幼児期の発達課題と親子関係」、「発達障がいのある子どもへの理解と対応」など子どもの成長に対して理解を深める講義だけでなく、「カウンセリングの実際」で傾聴の技法や態度を身につけます。

また、サークル活動の運営を想定して「調査票作成」「家庭教育プログラムの作成と手順」など、実践に役立つ内容もあります。今年度の研修の特徴は、第5回に公開講演会を設定したことです。67号でお知らせした公開講演会「しあわせ脳に育てよう」(11月21日開催)の参加者に、本研修受講者が作成した調査票(家庭教育支援に関するアンケート)を配布し回収します。そのアンケート結果を資料として、今後の活動について話し合いを深めていく予定です。

昨年度までの家庭教育サポーター養成研修会の修了者は271名になります。今後も各市区町村での活動が、ますます必要とされていくことと思います。



グループで活発に意見交換

家庭教育サポーターステップアップ研修会

～つながる・つなげる、ささえあうネットワークづくりをめざして～

家庭教育サポーターステップアップ研修会が今年もスタートしました。この研修会は、すでに地域で活動している家庭教育・子育て支援リーダーの資質向上と家庭・地域の教育力の向上を支援する中核的人材の養成を目的に5回シリーズで企画したものです。

受講対象者は、当センターで実施した家庭教育サポーター研修会の修了者で現在地域で活動されている方と行政担当者です。

◇実施日 第1回:10月4日(木) 第2回:10月5日(金)

◇会場 県立生涯学習推進センター

◇講師 樋田大二郎(青山学院大学教授)

今回はグループワークトレーニングを通じて①グループの成長とリーダーシップの仕組みを知る。②グループプロセスを分析・把握する力を育てる。③グループプロセスに働きかける力を育てることを目的に実施しました。研修会では数々の演習の中で、普段気づかない自分を見つけることができました。そして、グループでやることの楽しさや人との出会い「人間とはいいものだなあ。」と自分自身を見直すよい機会となりました。

今後の予定としては、3回目は事例研修として、山形県・やまがた育児サークルランドの有川富二子さんによるサークルのネットワークづくりの紹介と参加者同士の情報交換を行います。4・5回目は、(有)マックス・ゼンパフォースコンサルタント代表取締役の丸山結香さんによる「コーチング」を取り入れた演習を通じて学習を深めていく予定です。



チームワークづくり
“う～ん” どうつながる？
(推進ゲームより)

教育メディア研修会 ～演習(初級編)～

当センターで実施している教育メディア研修会では、講義を主とする概論(1日コース)に続き、ビデオやコンピュータの実技を行う演習を実施しています。

今年度の演習の初級編は、次のような内容です。

- 1日目：教育におけるコンピュータ利用と
プレゼンテーションの作成(1日コース)
- 2日目：ビデオ撮影の基礎とコンピュータを使った
ビデオ編集(1日コース)

(1)コンピュータ・プレゼンテーション作成

この研修は、教育におけるコンピュータ利用の動向や実践例について、資料やインターネット情報を手がかりにしながらか実施しました。

スキルアップ研修では、一人一台のコンピュータ環境で研修を行いました。プレゼンテーションソフトの操作法を学び、作品や教材制作を行いました。

◎アンケートにお答えいただいた受講者の声を紹介させていただきます。

①研修の内容について

- 「プレゼン制作は初体験でしたが、作品として完成までたどりつけ、とても満足。今後役に立つと思う。」
- 「コンピュータソフト(の操作法)を覚え、教材作りも終わらせることができ、大変有意義な一日となった。」
- 「今やらなければならない仕事にタイムリーであり、今後活用できる。」

②研修の方法について

- 「教材が一人一人に与えられ、効率よく作業できた。」
- 「いろいろと話を聞いたり質問したりでき良かった。本当に参考になった。」
- 「とてもわかりやすい説明(特に個別指導)でした。」
- 「マンツーマン指導、きめ細かな配慮があり、初心者にとって、参考になることばかりで、ありがたかった。」

(2)ビデオ撮影の基礎とビデオ編集

ビデオ研修では、素材になるビデオの撮影から始めています。ビデオ教材(作品)の善し悪しは、もともとなる映像に大きく左右されるからです。

コンピュータの性能等が向上し、ビデオ編集も簡単にできるようになりました。1日コースで、ビデオ撮影から編集までを研修しました。

◎こちらの研修でも、受講者から声を寄せていただきました。

①研修の内容について

- 「ビデオ編集は初めてだったが、とても楽しかった。」
- 「編集ソフトの操作法が聞いて良かった。職場でも利用してみようと思う。」
- 「ビデオ教材作成は、工作に似たおもしろさがあった。」
- 「ビデオ編集はやってみると意外と簡単。職場や所属の研修会で広めたい。」

②研修の方法について

- 「楽しく学習した。知らなかったこと、できなかったことが『わかる』『できる』喜びを味わうことができた。」
- 「わかりやすい説明でビデオ教材の作成に大いに関心を持ち、また自信をつけることができた。」
- 「個々のニーズに対応した丁寧な指導で、思いどおりの作品ができ、大満足。」
- 「とても丁寧に教えてもらい、勉強になった。今後はもっとレベルアップして、中級編を受けたい。」

③研修の要望について

- 「同じ内容の講座を数回に渡り開いてもらえるのは、参加しやすく良い。」
- 「市町村ではなかなかメディアを使った研修がなく、とても参考になった。県の研修は参加しがいがある。」

◎この他にも多くの感想や意見が寄せられました。ありがとうございました。



受講生の方々からお寄せいただいた意見や要望をもとに、教育メディア研修会をさらに充実させていきたいと思っております。今後も、ぜひ、ご参加ください。

中越管内文化財保護指導委員視察研修

10月17日(水)に新潟県文化財保護指導委員の文化財視察研修として、今年は長岡市の旧長谷川家住宅と藤橋遺跡の視察研修が行われました。日頃、国や県指定の文化財をパトロールしてくださっている方々の視察ですので、鋭い観察力を持って充実した研修となりました。



父親の家庭教育参加促進事業(参加募集)

- 日時：1回目 11月16日(金)18:00～20:00
2回目 11月22日(木)18:00～20:00
- 会場：加茂市公民館
- 内容：「子どものかかわり方」「父親としての役割」など
- 講師に新潟青陵大学大学院教授・心理学博士碓井先生をお迎えして、講義やグループワークを行います。
- 参加希望の方は、加茂市公民館(0256-52-1953)へお問い合わせください。



H19 県立青少年研修センター主催事業のご案内

〈12月〉

「中学生リーダーカレッジ」明日の学校を創るのは君だ!

- 期日：平成19年12月22日(土)～24日(月) 2泊3日
- 内容：リーダーに必要な資質を体験活動を通して学ぶ。他校の特色ある活動を知る。
- 定員：中学生120人 ○費用：3,500円(予定)
- 申込期間：平成19年11月22日(木)～12月7日(金)

〈1月〉

「高校生リーダーシップ研修」創りだそう! 輝く学校

- 期日：平成19年1月12日(土)～13日(日) 1泊2日
- 内容：グループワークを通して対人関係能力の基本を学ぶと共に、実践活動による能動的な行動方法を学ぶ。
- 定員：高校生120人 ○費用：2,000円(予定)
- 申込期間：平成19年11月30日(金)～12月14日(金)

◆会場・問い合わせ先

県立青少年研修センター
〒953-0012 新潟市西蒲区越前浜5597-1
(研修課 TEL 0256-77-2111)

社会全体で子どもをはぐくむ運動 フォーラムにご参加ください!

子育てを社会全体で支える地域を目指し、昨年度に引き続き、フォーラムを下記のとおり開催します。(受付は開始の30分前から)

〈上越会場〉

- 日時：12月9日(日)10:00～15:30
- 会場：上越市市民プラザ
- 内容：①上越地域の家庭教育青少年教育団体の活動紹介(10:30～12:00)
②講演会 講師：北村年子氏(13:30～15:30)
③親子体験活動(10:30～15:30)

〈下越会場〉

- 日時：11月24日(土)25日(日)10:00～17:00
- 会場：新潟市産業振興センター
- 内容：①講演会 講師：岸裕司氏
(24日(土)13:00～14:30)
②下越地域全市町村の子どもをはぐくむ活動パネル展(2日間終日)
③親子で楽しめる体験イベント

●新潟県生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」

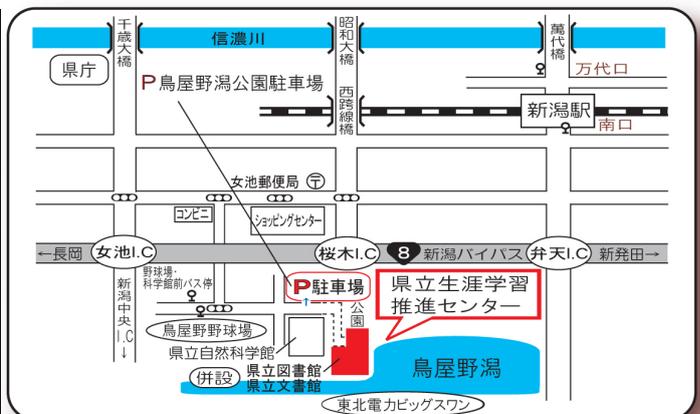
<http://www.lalanet.gr.jp/>
携帯版は、<http://www.lalanet.gr.jp/m>

●家庭教育・子育て電話相談「すこやかコール」

TEL:025-283-1150 FAX:025-284-6019

●生涯学習相談(兼新潟県体験活動等支援センター)

TEL:025-284-6119 soudan@mail.lalanet.gr.jp



新潟県立生涯学習推進センター 新潟市中央区女池南3-1-2 TEL:025-284-6110 FAX:025-284-6019

(URL)<http://www.lalanet.gr.jp/nlpc/> (e-mail)nlpc@mail.lalanet.gr.jp

平成19年4月1日、新潟市の政令都市移行に伴い、当センターの住所表示が上記のとおり変更になりました。お手数ですが、お手元の住所リストの訂正をお願いいたします。

その日…“感動”ふたたび

センターオープン『記念日』事業 第4弾! **タイムスリップ!** にいがた・冬編
～映像で訪ねる ふるさと 新潟県～

◇期日 12月2日(日) 13:00～15:00〔開場 12:30〕 ◇会場 県立生涯学習推進センター・ホール
◆申込み不要、入場無料、先着順(222席)

県立生涯学習推進センターでは、平成4年8月の開館を記念して、所蔵する貴重な映像を広く県民の皆様に公開する事業を推進しています。平成18年より年2回実施しており、今回は第4回目となります。

また、平成20年度も年2回(8月と12月)に開催する予定です。今後も県民の皆様の要望に応え、昭和30年代以降の県内各地の映像を公開していきます。詳しくは、センターまでお問い合わせください。

《 上映作品 》

- 1 「外海府～佐渡風土記～」・昭和38年頃の佐渡外海府地方の習俗(モノクロ) 1963(昭和38)年制作(21分)
 - 2 「新しき日本 新潟編」・昭和20年代の新潟の様子(モノクロ) 制作年不詳(10分)
 - 3 「平家部落と三面電源開発」・昭和30年代の三面ダム周辺の様子(モノクロ)1961年(昭和36)年制作(8分)
 - 4 「郷土をみどりに」・第23回全国植樹祭時の昭和天皇県内巡幸の様子(カラー)1972(昭和47)年制作(23分)
- * 事情により内容を変更する場合があります。

上越市教育プラザで開催!

映画鑑賞会

～県立生涯学習推進センター・名画座～

平成19年度新規事業として、上越地区広域視聴覚ライブラリーと共催して開催します。

上映作品は、センターの映画・ビデオ鑑賞会でアンコール上映した作品等から厳選し、上越地区の皆様にご覧いただけます。

この機会にぜひ、家族でお越しください。

◆12月9日(日) 13:00～15:00

「男のロマン『植村直己の足跡(トレース)』
～北極からマッキンリーまで～」

・1986(昭和61)年制作、記録画、60分、語り:滝田 栄

「越後歳時記」

・1966(昭和41)年制作、記録画、30分

「第19回国体 雪の祭典 妙高高原・高田会場」

・1964(昭和39)年制作、記録画、20分

◇入場無料、申込不要、先着順(70席)

◇会場:上越市教育プラザ研修棟2階研修室
(旧直江津工業高校跡地/上越市下門前593)

◇問い合わせ先:県立生涯学習推進センター
TEL 025-284-6110

月1回の感動シリーズ!

映画・ビデオ鑑賞会

～ホール『全席』無料開放～

「落ち着いた内容の映画を、じっくりと鑑賞したい…」、そのご要望に応じてセンター所蔵の教材を平成11年度から公開しています。

年度末は、感動が再び心に残る名画と子ども対象のアニメを上映します。ぜひ、家族でお越しください。

なお、鑑賞会の企画・運営は映画ボランティアの会(会員16名)が担当しています。

◆11月25日(日)13:00～15:00

「阿賀に生きる」

・1992年制作、記録画、115分

*佐藤 真 監督を偲んで開催します。

◆12月16日(日)13:00～14:00

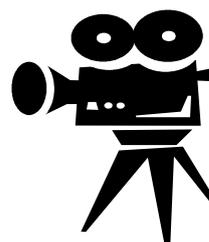
世界名作劇場「フランダースの犬」【完結編】

・1975年制作、動画、90分

◇入場無料、申込不要、

先着順(222席)

◇会場:県立生涯学習推進
センター・ホール



“さわやか”メール

先日、「メディアと子どもの成長」をテーマに家庭教育サポーター養成研修会を行いました。終了後、熱弁をふるった講師に「とても大切なことなので、ノー・テレビやノー・ゲームのキャンペーンをもっと進める必要はないか。」とたずねました。「いや、安易にキャンペーンを進めると、言葉だけが一人歩きし、テレビやゲームは絶対だめと完璧を求めてしまう危うさがある。家族関係がギクシャクしてしまうケースも多い。個々の家庭の状況に沿ってファジーにとらえてほしい。今日のように講師の肉声を通して微妙な部分やニュアンスを感じ取ってもらうことが何よりも大切。」との講師の返答。良質な生の話の大切さや必要性を痛感しました。

「社会全体で子どもをはぐくむ運動」が4年目になりました。単なるキャンペーンにとどまらず、この運動を通して、当事者である各地域や家庭のより多くの皆さんに、本物の生のメッセージが直接届けられ、子どもを真ん中においた地域・家庭づくりに大いに役立つことを期待しています。